

コモンズ30+しずぎんファンド

追加型投信 / 内外 / 株式



基準価額の推移

2014年12月29日 ~ 2023年8月31日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。



運用実績

2014年12月29日 ~ 2023年8月31日

基準価額

20,647 円

(前月末比)

△228 円 (△1.09%)

純資産総額

17.7 億円

(前月末比)

+0.3億円 (2.12%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	△1.09%
3ヵ月	8.18%
6ヵ月	18.36%
1年	24.16%
3年	56.17%
5年	54.72%
10年	-
設定来	106.47%

分配金 (1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2018年12月	0円
2019年12月	0円
2020年12月	0円
2021年12月	0円
2022年12月	0円
設定来合計	0円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配落後です。※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの構成比

種別	比率
コモンズ30ファンドマザー	90.4
静岡銀行株式	7.7
現金等・その他	1.9
構成銘柄数	32社



ポートフォリオの状況

業種別比率

機械	20.9%
化学	13.8%
電気機器	13.3%
卸売業	8.4%
サービス業	7.2%
輸送用機器	6.8%
食料品	4.2%
情報・通信業	3.8%
小売業	3.2%
金属製品	3.0%
医薬品	2.9%
建設業	2.6%
その他製品	2.3%
陸運業	1.6%
その他	6.0%

未来コンセプト別比率

精密テクノロジー	14.5%
生活ソリューション	14.0%
ウェルネス	13.9%
資源・エネルギー	11.0%
快適空間	9.2%
新素材	9.2%
未来移動体	6.8%
地球開発	6.6%
ライフサイクル	5.3%
社会インフラ	3.4%
その他	6.0%

組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	4.5%
2 三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	4.3%
3 味の素	ウェルネス	「食と健康の課題解決企業」としての認知を広め、コーポレートブランド価値向上を目指す	4.2%
4 丸紅	資源・エネルギー	規律ある経営で収益を積み重ね、いつか総合商社ナンバーズリーに	4.1%
5 信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	4.0%
6 KADOKAWA	生活ソリューション	IP創出力とIT技術力に支えられ、変化を恐れず挑戦し続ける	3.8%
7 デンソー	未来移動体	モビリティ社会で価値を創造し続ける	3.7%
8 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが脈々と続く「革新」を続けるグローバル企業	3.6%
9 SMC	精密テクノロジー	工場の自動化に不可欠な空気圧機器で世界シェアトップ	3.5%
10 ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.5%

※「業種別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。※その他とは現金等を指します。
 ◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。
 「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

8月のファンドの月間リターンは▲1.09%の下落となりました。

◎運用責任者メッセージ

8月の内外株式市場は、米国長期金利の上昇や中国の景気減速懸念などから弱含みの相場展開でした。特に、毎年夏に米国で開催される「ジャクソンホール会議（各国中央銀行関係者や経済学者らが参加し、世界経済や金融政策を議論する）」に注目が集まり、金利上昇懸念が市場を神経質にしていました。同会議を大きなサプライズがなく通過したのちは、金利低下や生成AIで注目される米国NVIDIAの好調な決算を受けて相場は持ち直しました。国内株式市場も、日銀のYCC（イールドカーブコントロール）の柔軟化と米金融引き締め継続懸念から弱含みで推移しましたが、米国株式市場の月末にかけての上昇に連動する形で、戻り歩調に転じました。特にTOPIX（東証株価指数）は、年初から8ヵ月連続の上昇となりました。

当マザーファンドは、月間で▲1.03%の下落、投資先31銘柄中14銘柄が値上がり、17銘柄が値下がりとなりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+0.43%の上昇、日経平均株価は▲1.67%の下落となりました。

当ファンドの株式の組入比率は、94.0%と前月比+2.4%の上昇となりました。個別銘柄の月間騰落率では味の素+11.49%、ユニ・チャーム+10.35%、クボタ+8.88%が上位3銘柄となりパフォーマンスをけん引しました。下位3銘柄は、シスメックス▲19.47%、カカクコム▲18.28%、ダイキン工業▲12.08%となりました。当月、上場来高値を更新した銘柄は味の素、ディスコ、日立製作所、ユニ・チャーム（銘柄コード順）の4銘柄、年初来高値を更新した銘柄は12銘柄ありました。なお、先月から組入を開始した銘柄は任天堂でした。その結果、組入銘柄数は31銘柄となっています。任天堂は、2009年の運用開始時の最初の組入銘柄でしたが、その後、一旦、売却をしたので再エントリーということになります。今回、改めて同社が目指す、「娯楽を通じて人々を笑顔にする会社」を再評価しました。

当面の国内株式市場は、米国のインフレ動向と金融政策、中国の景気動向を注視しながら足固めを行い、年末年始に向けて再び騰勢を強めていくと想定しています。企業との対話では、引き続き、サステナビリティに関する見えない価値（非財務情報）を中心とした対話を重ねて参ります。お客様を交えた企業との対話も北陸や北海道でのイベント開催を検討中です。

引き続き、ご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

投資委員会メンバー

○伊井哲朗、上野武昭、末山仁、原嶋亮介、古川輝之/○は最高運用責任者

組入比率と組入銘柄については、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

7月に「任天堂」の組入を行いました。

組入理由につきましては「今月のピック！」をご参照ください。



今月のピック！

■ (7974) 任天堂<新規組入投資先>

任天堂を「コモンズ30マザーファンド」に新規に組み入れました。任天堂は、ハード・ソフト一体型のゲーム専用機ビジネスを経営の中核に置いています。「ファミリーコンピュータ」「ゲームボーイ」「Wii」「ニンテンドーDS」「Nintendo Switch」などの家庭用ゲーム機を開発、「マリオ」「ゼルダ」「ポケモン」などを含め豊富なIP（キャラクターなどの知的財産）を持つ世界的にブランド力が高い企業です。同社のゲームは、子供から大人まで多くのファンを抱え、世代や国境を超えてつながる価値、体験価値を共有できます。同社が目指すのは、「**娯楽を通じて人々を笑顔にする会社**」として、**どなたにでも直感的に楽しんでいただける「任天堂独自の遊び」を提供すること**です。

新規組入の理由は、(1) 笑顔を広げられる存在であること、(2) 好財務内容のなか、徹底した「任天堂独自の遊びを提供する」開発姿勢に共感できること、(3) アニメ映画、テーマパーク、マーチャンダイズなどへの取り組み強化などにより、同社IPに触れる人口が一段と広がる期待があること、などです。足元の業績は堅調です。重層的なゲームソフトの投入が続くなか、映画「ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー」の世界的なヒットの効果も加わり、ハード、ソフトの販売が活性化されています。2017年3月発売の現行のゲーム専用機「Nintendo Switch」はライフサイクルを伸ばしており、その「年間プレイヤー」数は、2022年7月から2023年6月までの1年間で1億1600万超と過去最大を記録しています。今後数年の間には、次世代機発売の可能性もあり、新たな独自の遊びの提供で、世界中にもっと笑顔が広がっていくと期待します。

シニア・アナリスト 上野 武昭

■ (6326) クボタ

クボタは、8月4日に2023年12月期第2四半期累計の決算を発表しました。売上高1兆5,200億円(前年同期比+20.7%)、営業利益1,846億円(同+55.4%)となりました。通期見通しは、売上高500億円(従来比+1.7%)、営業利益150億円(同+5.6%)とし、上方修正を発表しました。想定為替レートを円安に設定したことにより、北米を中心とした国外向けの業績拡大、値上げ浸透による販売価格の上昇等が要因です。

足元の北米景気は、長期金利の高止まりによりインフレが依然として継続している状況で、同社の事業環境に影響を及ぼす住宅関連市場も例外ではありません。一方で公共工事による道路整備等のインフラ投資では、政策支援により建設機械需要には好環境となっております。

このように同社の事業展開や製品用途によってまだら模様な事業環境となっております。そのような中、**コロナ禍を経て同社の経営の構えがさらに1段高まったように感じております**。需要地生産を推進するための生産体制の整備、当該諸国での消費者需要や経済動向を見越した適切な販売・在庫コントロール、無人運転等の次世代農業に寄与する技術進化です。これらの経営のスピード感や様々な施策が、足元の同社株価の再評価に寄与していると考え、今後もこのような非連続な変化と成長に期待したいと思えます。

アナリスト 古川 輝之

■ (4911) 資生堂

資生堂が発表した2023年12月期第2四半期決算は、第2四半期までの累計で、売上高は前年同期比0.2%増、コア営業利益は同59.9%増となりました。売上高が伸びていないのは事業譲渡の影響であり、「SHISEIDO」「クレ・ド・ポー ボーテ」「NARS」「Drunk Elephant」の主力4ブランドはいずれも好調です。直近では、原発処理水をめぐって中国での不買運動が話題になっており、今後の状況は注視しなければいけません。現時点では会社側はそこまで強い懸念は示していません。

それよりも注目したいのは、**決算と同時に発表された日本事業の構造改革**です。全社業績としては着実に利益が出ているものの、日本事業について言えばコア営業損益が赤字である現状に対して、昨年就任した藤原社長COOは強い危機感を示し、これまでよりも踏み込んだ抜本的な改革に取り組む決意を示しました。資生堂のような歴史ある大企業において、痛みを伴う思い切った改革を進めることは簡単ではありませんが、藤原社長の実行力に期待です。

シニア・アナリスト/ESGリーダー 原嶋 亮介



リンナイさんとこどもトラストセミナーを開催！

8月5日（土）に当ファンド投資先企業であるリンナイさんのほっとラボ横浜という施設で、こどもトラストセミナー「子どもでもできる家事で、明日の暮らしを快適に！一学んで、作って、おいしい時間」を開催しました。

今回はリンナイさんの施設で、リンナイさんの商品を実際を使って様々な体験をしました。リンナイさんといえば、みなさんの快適な「衣」・「食」・「住」に貢献している会社です。

最初は「食」についてです。クイズも交えながら調理について勉強しました。例えば、卵1つとってみても、「ゆでる」「やく」「いためる」「むす」といった様々な調理方法で完成する料理が変わりますよね。料理の写真パネルを1つ受け取り、ホワイトボードの答えだと思ふ調理方法に貼っていく等、いくつかの問題を楽しみながら学びました。

しっかりと調理について勉強した後は、実際にリンナイさんの最新のガスコンロを使って調理体験です。コンロを使ってご飯を炊いたり、フライパンでパンケーキを作ったり、グリルで野菜を焼いたりしました。パンケーキは焼いた後、みんなでクリームやフルーツでデコレーション。みんなの個性が光りました。

ガスコンロで炊いたご飯でおにぎりを握って、グリルで焼いた野菜とソーセージをおかず、そしてデザートにはパンケーキ。一緒に来てくれたお母さん・お父さんの分も合わせて2セット作りしました。それぞれが一生懸命使ったご飯を食卓で囲んで、楽しかったこと、難しかったことなどを一杯話しました。



作った料理をいただきます！



すごいふっくらになった！

もちろん、料理をする前は手を洗いますよね。濡れた手を拭いたタオルをそのまま持って帰りたくはありません。セミナーが終わるまでにタオルを乾燥させるため、ガス乾燥機「乾太くん」を使います。ここではリンナイさんの「衣」の部分です。実際に乾燥したタオルを手にとると、天日干しよりもふっくらしたタオルにみんなビックリ。「すごくふかふかになった」との感想が大多数でした。

また、リンナイさんといえば、給湯器を思い浮かべる方も多いと思います。実際、会場の施設には浴室もあり、マイクロバブルバスやミストサウナが体験できます。リンナイさんの「住」です。マイクロバブルのお湯に手をつけてみると、「やわらかい感じがする」「お肌がすべすべになった」と大盛況。「こういったお風呂に入りたい」とお父さんにおねだりしているお子さんもいました。

最後にシニア・アナリスト/ESGリーダーの原嶋より、リンナイさんをコモন্ズの視点で紹介しました。「皆さんから預かったお金を、リンナイさんに更に預けているので、リンナイさんが快適な暮らしを世界中に届けるためにコンロや給湯器を売って利益を出してくれると、皆さんから預かったお金も増えることになるし、それを期待して投資しています。ちゃんと利益を出せるかどうかは、アナリストがちゃんと確認しておきますので、皆さんはリンナイさんを応援してもらえればと思います。」とコメントを行いました。

こうして、様々な体験を通してリンナイさんの製品が私たちの快適な暮らしに貢献していることを学ぶことができました。これからも投資先企業がどんな価値を提供している企業なのかをお子さんにもわかりやすく伝え、投資の意味を体感いただけるセミナーやイベントを開催していきます。



マーケティング部 齋藤 亮



未来がはじまる場所になる。

第2回目：静岡銀行 西部カンパニー プライベートバンキング担当 足田光彩季さん

先月より、当ファンドの投資先企業である、しずおかフィナンシャルグループ（以下：しずおかFG）における取組みの紹介をスタートしました。

コモンズ30+しずぎんファンドは、環境の変化やグローバルな競争が激しい時代を乗り越え、豊かな生活と地域社会への貢献を目指す未来志向の地域金融の実現を、地域金融機関への投資を通じて目指すファンドです。

「未来がはじまる場所になる。」をスローガンに掲げる、しずおかFGが地域の明るい未来に向けてどのようなマテリアリティ（取り組むべき重要課題）に取り組む、社会価値創造と企業価値向上の両立への挑戦を続けているのか、しずおかFGの従業員の皆さんとの対話を通じてご紹介していきます。

第2回目は、【静岡銀行 西部カンパニー プライベートバンキング担当 足田光彩季さん】です！

Profile：2016年静岡銀行入行（竜洋支店→浜松営業部→西部カンパニー ※1）

※1：静岡県西部地区の各営業店を統括する部署。営業店のサポートや、法人・個人の垣根を超えたお客さまの課題解決（相続やビジネスマッチングなど多岐にわたる）に取り組む。

森田：足田さんが入社してから大切にしている想いがありますか？

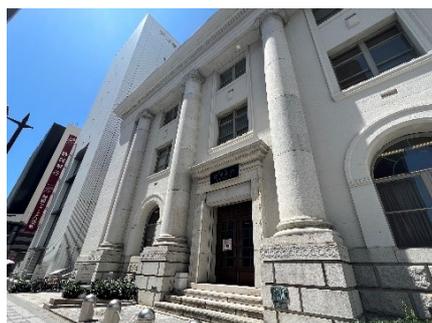
足田さん：お客さま一人ひとりの悩みや課題に寄り添うことで、相談してよかったと思ってもらえるような担当者でありたいと思っています。私は入社時より個人のお客さまの資産形成に関する業務に従事してきました。日々、一人でも多くのお客さまのライフプランのサポートに取り組むことや、提案スキルの向上に努めています。

森田：所属部署ではどのようなマテリアリティに取り組んでいますか？

足田さん：所属する西部カンパニーではプライベートバンキング担当として、静岡県西部地区の営業店と連携し、お客さまの資産運用や相続対策等に関するご提案を行っています。「地域社会の健全な成長」や「人口減少・少子高齢化への対応」という地域としずおかFGが取り組むべきマテリアリティに対し、**地域のお客さまの金融リテラシー向上**や、**ライフステージに応じたサービスの提供をすることが、私たちの役割**だと考えています。お客さまとのご面談以外にも、取引先での職域セミナーや、自治体との連携による金融教育の推進・支援も実施しています。



足田さん



浜松市指定文化財に指定されている
浜松営業部本館

森田：足田さんは日々どのようなアクションを起こされていますか？

足田さん：お客さま自身でも気づいていないニーズや課題に“気づきを与える”ことが私の役割だと考えています。「自分は大丈夫」というお客さまもいらっしゃいますが、お話を聞いていくと、何かしらの悩みを抱えていらっしゃる方が多いと感じます。今は、静岡銀行だけでは解決できないことも、グループ会社や外部企業と連携することで、あらゆるソリューション提案が可能になっています。引き続き、専門性を高めながらお客さまの課題解決に力を注いでいきたいです。

森田：足田さんがイメージする、未来のしずおかFGの姿を教えてください。

足田さん：地域の「よるずや」のような存在を築いているのが理想です。あらゆる部署との連携や異業種との融合で、お客さまの課題に合わせたプラットフォーム形成を可能とし、「困ったときには、まず相談してみよう」と思っただけの存在を目指したいです。

森田：しずおかFGに関わる方々へ、メッセージをお願いいたします。

足田さん：持株会社体制に移行したことで、グループ各社の結びつきが強くなるとともに、新たな事業領域にチャレンジしようとするムードが高まり、グループ役職員一人ひとりが日々切磋琢磨しながら業務に励んでいます。今後もしずおかFGに関わる全ての皆さまにとってなくてはならない存在となるよう、未来を切り拓く挑戦を続けていきたいと思えます。



左/コモンズ投信森田、右/足田さん

マーケティング部 森田 菜月



【アスリートと投資教育】

先月は、私の出身高校で、「社会における金融の役割」について講演したことを書かせていただきましたが、先般は静岡銀行さんと共同で清水エスパルスの幹部、選手の皆さんに『アスリートの資産形成、セカンドキャリアも意識して～筋トレのようにコツコツと～』をテーマに講演する機会に恵まれました。年齢層でみると入団したばかりの10代の選手からシニアな経営幹部まで幅広い世代の皆さんに参加いただきました。スポーツ選手は、サッカー選手に限らずアスリートとしてのキャリアは10年くらいのことが多いので、セカンドキャリアもイメージした資産形成を考えねばなりません。さらに、長い人生のライフプランニングを考えると、サラリーマンの場合は勤続年数や経験を重ねることにより収入が増えていきますので50代で年収のピークを迎えることも多いわけですが、アスリートの場合は20代で生涯年収のピークに達することもあります。つまり、よく書店で並んでいるノウハウ本では参考にならないことも多いわけです。

私からは、欧米のプロアスリートはどんなアプローチで資産運用を行っているのか、日本のプロスポーツ選手との環境の違いは何かを説明させていただき、さらに、アスリートでも一般的なサラリーマンでも変わらないベースとなる資産づくりの考え方として、投資信託の積み立てによる資産形成を説明させていただきました。

その後、グループに分かれてワークショップも行いました。ワークショップでは、それぞれの皆さんの資産形成の事例を共有し、意見交換を行いました。現役後の生活費や老後の資金などについて不安を持たれている方が約7割でしたが、若い選手の中には、NISAやつみたてNISAを行っている方々も少なくなく、参加者の約6割の方が投資経験があるとのことでした。

終了後は、「事例を元にした内容で分かりやすかった」、「気になっていたことなので、今回、いろいろ知ることが出来て良かった」、「投資に対して前向きになれる話だった」などの感想をいただきました。やはり、資産形成は我が事としてライフプランニングをイメージして考えてみる必要があります。

代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗





販売会社一覧

販売会社名	登録番号	加入協会		
		一般社団法人 日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会 第二種金融商品 取引業協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第5号	○		○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○
静銀ディーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第10号	○		
株式会社 SBI 新生銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○		○



投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくごお願い申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.265%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他	商品分類	追加型投信/内外/株式
	信託設定日	2014年12月29日
	信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
	決算日	原則として毎年12月18日（休業日のときは、翌営業日を決算日とします。）
	分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
	購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
	換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
	換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日
	申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



ご注意事項

- ・本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ・ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ・このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先

- コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）03-3221-8730
- ウェブサイト <https://www.common30.jp/>